

## 2024年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 one step

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を含めた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3			
	3	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	5		建物の構造上、改善が難しい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		6	1		スタッフに明確に伝わるよう改善していく。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページで公開しているか	4	3			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		5	2		外部研修などの情報を分かりやすく揭示し、参加を促していく。
適切 な 支 援 の 環 境	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	3		就業体験による企業や事業所の評価表も併せて分析し、より良い計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	1	一般的なものに加え、就業体験から得たプログラム、苦手克服プログラムなどを行っている。	チーム外への情報共有に物足りなさを感じるため、全体的な共有を目指したい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4		季節に応じたプログラムや、利用時間により変化を付けている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	4			障害程度や、個々の行える内容を踏まえた集団活動が課題。
	15	支援開始日には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		4	3		重要事項のみ共有することが多いため、一日のスケジュールなども含め改善していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	5	1		送迎などに追われ、落ち着いて振り返ることが翌日以降になってしまったため、当日行えるように改善していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	3	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	6			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1		トライアングルプロジェクトや個別のカンファレンスに積極的に参加している。	事業所ではなく、保護者に連絡が行ってしまうことがあるため、直接連絡がもらえるように改善していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4		学校・医師・保護者と連携しており、医療的ケアも指示書に基づいている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	1	今後初めて卒業生が出るため、積極的に情報共有を行っている。	卒業後も本人が安心して過ごせるよう事業所や企業と繋がりを保てるようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4		放課後児童クラブの児童と一緒にイベントを行っている。	機会が少なくなっているため、もう少し増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	1			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		個別支援計画書とは別に、独自の就業体験経過表を作成し、課題をより明確にしている。	伝達においては足りないところがあるため、保護者に安心して利用してもらえるよう改善する。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5		個々の特性や、困りごとに対しては成功例や工夫した内容をお伝えしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		契約時や面談時など定期的にお伝えをしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		送迎の際、困りごとや変わった様子などを共有している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	3		開催したことがない為、検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			1~2か月に一度、会報を作成しプログラム内容やイベントを中心に伝えていく。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	5	2		様々な方法を試し、適した方法を模索している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	1	地域イベントへの積極的な参加。	見学なども積極的に受け入れていきたい。

非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2		定期的な避難訓練、その他防災に関するプログラムを実施している。	避難以外に必要なことも児童に分かりやすく伝えていく。
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	4	1		研修の内容を充実させ、改善に繋げていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4			身体拘束を必要とするケースに対応できるよう、しっかりと準備しておく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	4		ヒヤリハットがあった際は報告書にて共有を図っている。	ヒヤリハットに関しての研修会を実施していく。